



## ご 挨拶

会長 池山 昭夫(D32)

緑会の皆様にはご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は当会へのひとかたならぬご支援・ご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。また、ご承知のように'05年から始まりました母校の創立100周年記念行事も昨年秋には滞りなく終了し、その際の募金活動には皆様の多大なご協力をいただきましたこと誠にありがとうございました。あわせてお礼を申し上げます。

さて、今年度の当会の年間行事もお陰様でほぼ計画通りに進捗しました。特に恒例の主行事である「講演会・懇談会（キャリアサポート交流会）」では、昨年実施しました在学生へのアンケート結果を反映させ、就職活動や進路決定にさらに役立つよう内容を変え、3月6日に名古屋市公会堂にて盛大に開催することができました。とくに、初めての企画であるキャリアサポートのための企業紹介のポスターセッションは好評であり、今後ともさらに内容を充実させていきたいと考えております。

講演会では、水谷尚美氏（日本ガイシ株式会社元代表取締役

副社長、D42卒）による「私の企業人としての一生：ハニカムセラミックの開発とその海外展開」および加地理泰氏（全緑会会長、D31卒）による「染色機の歴史から液流染色機の開発」の二つの演題について、お二方のそれぞれ数十年にわたる企業活動における貴重な体験についての講演であり示唆に富む内容であったと思います。

懇談会には、ご来賓として大学から松井学長および名古屋工業会から牛込理事長のご臨席を賜り、応用化学科の学科長はじめ例年以上の在学生とOBおよび企業関係者のご参加を得、賑やかな雰囲気のをもつことができました。とくに閉会前に行われた「科歌斉唱」ではOBと会場からの飛び入りによる若い在学生が多数で壇上で威勢良く音頭をとったことは感動でした。今後ともエネルギーにあふれる在学生の皆さんの積極的な参画を得て、緑会をますます発展させていきたいと考えております。会員の皆様には引き続き格別のご支援とご協力をお願いいたしましてご挨拶とさせていただきます。

## 緑会からの“ご報告”と“お願い”

幹事長 水谷 榮一(D40)

緑会会員の皆様にはご健勝にご活躍のこととお喜び申し上げます。

平成16年6月の緑会総会で幹事長の大役を仰せつかってから早くも4年が過ぎようとしております。この間、大学の法人化や個人情報保護法など時代の変遷に伴う緑会の対応が求

められましたが、学内諸先生、緑会役員の方々の強力なご支援・ご指導を得て無難に進めることができました。ここでは4年間に対応した課題のまとめと、今後の課題について述べ、一つの区切りとしたいと思います。

### 平成20年度緑会総会のご案内

下記の通り開催いたしますので出席を予定の方は6月17日(火)までに下記担当者まで連絡願います。

日時：平成19年6月28日(土) 15時

場所：名古屋工業大学 2号館3階WY教室

1. 総会・講演会 (15:00~17:00)

総会議事

大学近状報告

学術講演「弱者協力、意外と強力 -固体酸塩基触媒を用いる新プロセスの工業化-」

嶋崎由治氏(D41) 株式会社日本触媒 触媒研究所所長

2. 懇親会 (17:10~18:30)

大会会館2階カフェテリア

会費：4,000円(当日徴収)

連絡先

・19年度学内庶務幹事 小澤 智宏

Tel&Fax：052-735-5249

緑会専用E-mail：midori@ach.nitech.ac.jp

・緑会幹事長 水谷 榮一

Tel&Fax：052-834-0043

E-mail：mizuta2\_e1@hotmail.com

### 緑会会誌「炎」に関するお知らせ

昨年度の「炎」で財政上の理由によりこれまで郵送していた「炎」を、一部webでの配信とさせていただき旨をご案内いたしました。本年度以降は既にご案内の通り以下の措置をとらせていただきますので、何卒ご了承願います。

D50以降の卒業生の皆様には「炎」の発送を中止させていただき、下記のサイトを参照していただきます。

<http://www.ach.nitech.ac.jp/~midori/index.html>

会誌に関する情報は網羅しています。

上記緑会ホームページは逐次更新しておりますので、最新の情報が得られます。学科のホームページ、名古屋工業会のホームページにもリンクしています。都合で上記サイトを閲覧できない方は、左記担当者までご連絡ください。

## 1、対応した課題のまとめ

- ① 大学の法人化に伴う学科名称の変更に対する緑会会則の改正（平成18年6月）。  
平成20年3月に新学科名の生命・物質工学科（物質化学プログラム、生物生命プログラム）の学生が卒業する。双友会と協議の上、緑会会則の一部を改正した。
- ② 大学創立100周年記念募金活動。  
平成16年10月1日から実施されていた募金活動は昨年（平成19年9月30日）に締め切られました。本緑会ニュース『炎』でも度々ご寄付をお願いしてまいりましたところ、多くの会員の方々よりご寄付を賜り有難うございました。表1に単科会別募金状況の結果を掲載します。
- ③ 個人情報保護法制定に伴う緑会の対応。  
平成17年4月、個人情報保護法が制定された。これに対処する為、昨年（平成19年5月発行）の緑会ニュース『炎』に緑会の方針を掲示し会員の方々にお知らせしました。  
約60名のオプトアウト（情報消去）の申し出がありましたので消去の上、平成16年度版の緑会会員名簿を新卒業生に配布しました。
- ④ 緑会「講演会・懇談会」の見直し  
平成18年11月、緑会「講演会・懇談会」について卒業生・在学生（162名）にアンケートを行い就職および求人に対する講演又はイベントを希望する旨のご意見をいただき

ました。この結果に基づき、学内委員及び企画委員会で検討しポスターセッション（ポスター形式による企業説明会）を企画し、平成20年3月6日に名古屋市公会堂にて緑会「講演会・懇談会（キャリアサポート交流会）」を開催し、無事終えることができました。ポスターセッションは初めての企画であり、反省を踏まえてより改善することが必要と思われま

## 2、今後の課題

- ① ホームページの整備及び活用  
ホームページサーバー（H P S）の更新により、緑会がホームページとして使用できる領域が大幅に増幅された。今後、ホームページの整備を行い、緑会と会員相互の連絡を密にするよう図っていく。
- ② 会員のネットワーク構築  
緑会の専用パソコンを利用し、E-mailによるネットワークを作り、ホームページのより有効な活用を行う。  
以上、対応した課題のまとめと今後の課題について小生なりに考察してみました。  
今後は新幹事長の下でいろいろと活動がおこなわれることと思ひます。会員の皆様には暖かいご指導、ご鞭撻を新幹事長にもご支援いただきますようお願いいたします。  
最後になりましたが、4年間の在任中には皆様方の絶大なご協力を頂き、誠に有難うございました。

## 生命・物質工学科および緑会の沿革

平成16年度版緑会会員名簿の応用化学学科の沿革を追加訂正した。

- 明治38. 3. 28 名古屋高等工業学校創立に際し色染科として設置される（3年生）
- 明治41. 3. 第1回卒業生7名輩出（同窓会名：DD倶楽部と称す）
- 昭和 4. 4. 1 工業教員養成所の敷設に伴い色染科が設けられる。
- 昭和12. 4. 同窓会名：名染會と改称
- 昭和14. 3. 29 科名を色染化学科と変更する
- 昭和16. 4. 1 科名を工業化学科と改称し、色染・合成・窯業の3分科とする。
- 昭和17. 3. 23 第2部（夜間、4年制）の併設に伴い工業化学科が設けられる。
- 昭和19. 4. 1 名古屋高等工業学校が名古屋工業専門学校と改称されるにあたり、化学工業科となり窯業分科が置かれる。
- 昭和20. 4. 1 窯業分科が窯業科として独立する。
- 昭和23. 3. 31 第2部が廃止される。
- 昭和24. 5. 31 名古屋工業大学の発足に当たり、工業化学科として設置される。
- 昭和26. 3. 31 名古屋工業専門学校および同附設工業教員養成所が廃止される。
- 昭和28. 4. 同窓会名：緑会と改称

- 昭和32. 4. 1 短期大学部（夜間、3年制）に工業化学科が増設される。
- 昭和34. 4. 1 第2部（夜間、5年制）の設置に伴い工業化学科が設けられる。
- 昭和36. 3. 31 短期大学部が廃止される。
- 昭和36. 5. 19 名古屋工業大学工業教員養成所（3年制）が併設され、工業化学科が設けられる。
- 昭和39. 4. 1 大学院工学研究科（修士課程、2年制）工業化学専攻が設置される。
- 昭和42. 4. 1 合成化学科が増設される。
- 昭和44. 3. 31 名古屋工業大学工業教員養成所が廃止される。
- 昭和46. 4. 1 大学院工学研究科に合成化学専攻が設置される。
- 昭和60. 4. 1 大学院工学研究科博士課程（前期2年、後期3年）物質工学専攻が設置される。学部は第1部が応用化学科に改組され、第2部が応用化学科に改名される。
- 平成16. 4. 1 第1部が生命・物質工学科に改組され、第2部が物質工学科に改名される。
- 平成20. 3. 26 緑会第100年目の卒業生を輩出する。

（途中昭和27年度は3年制から4年制に移行のため卒業生零）  
（ただし、戦時中は2回／年の卒業があった）

表 1 単科会別募金状況

2007/10/31 (確定)

単科会名	OE会 C	光誠会 A	巴会 M	電影会 E	双友会 W	緑会 D	名鷹会 Y	名晶会 K	計測会 F	経友会 B	翼会	DF会	その他 -	合計
A 所属学科生存卒業生数	5,052	3,653	8,038	10,416	3,316	7,539	2,734	2,699	2,280	1,661	269	96	247	48,000
B 募金依頼発送者数	2628	1427	5971	5431	1485	3571	1737	1632	1567	1142	185	46	154	26,976
B/A %	52.0%	39.1%	74.3%	52.1%	44.8%	47.4%	63.5%	60.5%	68.7%	68.8%	68.8%	47.9%	62.3%	56.2%
C 寄付者数	732	229	1070	1249	744	933	303	513	213	189	55	7	42	6,279
C/B %	27.9%	16.0%	17.9%	23.0%	50.1%	26.1%	17.4%	31.4%	13.6%	16.5%	29.7%	15.2%	27.3%	23.3%
D 募金額(万円)	1,139	434	3,446	12,537	1,520	1,774	1,298	1,373	372	294	137	12	262	24,597
D/E %	54.1%	28.5%	102.9%	288.9%	110.0%	56.5%	113.9%	122.1%	39.1%	42.5%	122.2%	30.0%	254.4%	123.0%
E 募金期待額(万円)														
A/全卒業生数×2億円	2,105	1,522	3,349	4,340	1,382	3,141	1,139	1,125	950	692	112	40	103	20,000

## ご 挨拶

生命・物質工学科 教育類長 森 秀樹

緑会の皆様方には日頃より、本学科へ多大なるご支援・ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

本年3月には、生命・物質工学科第1期生が卒業を迎え、それぞれ社会人、大学院進学へと巣立ってゆきました。昨年、就職担当を務めさせていただきましたが、多くの皆様からご支援を賜り、学部生、大学院生ともに緑会会員の皆様が所属される多くの企業へ就職することができました。新社会人の皆さんには、広い視野を持ち、社会人としての誇りと責任を胸に、より良い技術者、研究者を目指して日々研鑽していただきたいと願っております。また、先輩方には彼らを暖かく見守っていただくと共に、社会人として成長できるようご指導いただきますようお願い申し上げます。

平成16年に独立行政法人化されて4年が経過しましたが、この間、大学の掲げた中期目標・計画の達成に向けて、さまざまな検討と努力が続けられ、この4月に2つの大きな教育組織の改編が行われました。これまで名古屋工業大学では、中京地区における勤労学生の教育の場として物質工学科を含めて4学科で第二部夜間教育を担ってきましたが、近年の社会情勢の変化に伴い、本学においても有職者数の比率が低く

なってきました。そのため、各学科5名、全学で20名と定員を大幅に縮小し、少数精鋭型の工学教育により第二部教育の原点に立ち返ることを目指すことになりました。また、幅広い専門知識を身につけた高度技術者に対する社会からの要請に応えるため、大学院工学研究科を再編し、新たに未来材料創成工学専攻、創成シミュレーション工学専攻を設置しました。生命・物質工学科担当の先生の中からもそれぞれの専攻へ協力することにより、大学院教育の幅がさらに広がりました。

このような教育環境の変化の中で、本年2月に猪股智彦助教が新たに着任し、4月には、山下啓司先生、柴田哲男先生が教授へ、出羽毅久先生、船橋靖博先生、中村修一先生が准教授へ昇任し、教育体制の充実が図ることができました。これからも若い先生方とともに教育に励む所存であります。皆さま方には、これからも大学、学科へのご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、緑会会員の皆様のご健勝と益々のご発展を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

## ご 挨拶

生命・物質工学科 副教育類長(就職担当) 大谷 肇

緑会の皆様には、日頃から本学及び本学科に対し多大なご支援をいただき誠にありがとうございます。私は本年度就職担当を仰せつかっておりますが、皆様方からは特にお世話になっており、重ねて感謝申し上げます。

昨今は、学生の就職活動も、一昔前、二昔前とは大きく様変わりしております。まず、活動時期の早期化・長期化が第一の特徴として上げられます。現在では、大学院進学率も上がり、就職活動の主体もどちらかといえば大学院生になっております。そうした中で、修士1年の秋には早くも就職内定者が現れる一方で、志望する会社によっては、本格的な選考は年度が改まり修士2年になってから始まるということも珍しくありません(したがって、われわれ就職担当も、本来の対象年度の半年前には開業し、任務も「長期化」しています。)

また、インターネット全盛の時代を反映し、XXナビや〇〇ナビのサイトから幾つもの会社に「エントリー」し、会社説明会・見学・および数次にわたる選考過程を並行して進めるといふ、いわゆる「自由応募」のスタイルが主流になって

います。(大学の推薦状が、昔のような「神通力」を持たなくなっているという側面もあります。)その結果、就職活動中の学生・院生は、本来研究に本腰を入れて取り組まなければならない時期に、ほとんど大学にいないという本末転倒の状態を招いています。

さらに、学生たち自身は、このような情報の洪水に直面して、浮き足立ち、右往左往し、さらには途方に暮れている姿が目立ちます。このような状態を少しでも緩和するには、長年にわたって培われてきた皆様方との絆が大変役立ちます。こうした観点から、本年3月に開催した恒例の緑会講演会・懇談会では、初めての試みとして「キャリアサポート交流会」を併設し、好評のうちに終えることができました。

これまで、緑会懇談会は「会社・先輩」と「新卒業生」との交流を主目的としてきましたが、折角の機会を就職活動中あるいは今後就職活動を行う学生・院生との交流の場としても活かそうという狙いから、こうした学生に対し企業内容をご紹介いただく場として「交流会」を企画したものです。初めての試みにもかかわらず、60社を超える申し込みをいただ

きましたが、会場の都合から最終的に先着47社に絞ってご参加いただきました。(折角お申し込みいただきながら、お断りすることになりました会社・企業には、この場を借りて改めてお詫び申し上げます。)

このような交流の場を、今後ともぜひ発展的かつ継続的に設けていきたいと考えております。具体的な方法等につきま

して、緑会の皆様方からご意見、ご要望、あるいはご提案等を積極的に寄せいただければ幸いです。今後とも、後輩の育成を暖かく見守り、ご指導、ご鞭撻いただきますようよろしくお願い申し上げます。末筆ながら、皆様方のご健勝とますますのご発展を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

\*\*\*\*\*

## 新任教員紹介

\*\*\*\*\*

### 就任挨拶

#### 猪股 智彦

はじめまして。2008年2月1日付けで生命・物質工学科、無機分野の助教を拝命いたしました猪股智彦と申します。皆様、宜しくお願ひ致します。私の専門分野は電極などの表面に様々な化合物を化学修飾することによる、機能性電極の開発です。電極の化学修飾というテーマは私が修士の学生だった頃に出会った研究テーマです。それから十年近く経ち、修飾する分子は様々に変わりましたが、まだ私の研究の根幹に

横たわっております。将来的には、太陽電池や燃料電池などの電極材料として実用化レベルで利用可能な、分子をベースとしたエネルギー変換素子の開発を夢見て研究を行っております。

私の出身地は北海道ですが、こちらに来て感じたことは様々な点で非常に活性の高い地域であるということです。ここ名古屋を含む東海地区は日本のものづくりの中心地域であります。今後、微力ながら、研究・教育を通して、ものづくり、またそれを担う人材の育成に取り組んでいく所存であります。まだ若輩者であります。今後とも何卒御指導・御鞭撻の程、宜しくお願ひ致します。

#### 教員の異動 (2007. 4 以降)

昇任	2008年4月1日	山下啓司	教授
昇任	2008年4月1日	柴田哲男	教授
昇任	2008年4月1日	出羽毅久	准教授
昇任	2008年4月1日	船橋靖博	准教授
昇任	2008年4月1日	中村修一	准教授
新任	2008年2月1日	猪股智彦	助教

## 平成19年度卒業生就職先一覧

### ●博士課程後期●

《就職先》  
三井化学(株) セントラル硝子(株) スクリプス研究所  
(財)神奈川科学技術アカデミー

### ●博士課程前期●

《就職先》  
(株)TIBC (株)エヌイーホールディングス (株)カネカ  
(株)キャタラー (株)コナミスポート&ライフ (株)ジェイテクト  
(株)フジクラ (株)フジインコーポレーテッド (株)村田製作所  
(株)明電舎 (株)大林組 (株)東芝 (株)内田洋行 JSR(株) NTN(株)  
TDK(株) アイカ工業 (株)アイシン精機(株) カゴメ(株)  
岐阜市消防本部 キヤノン(株) コニカミノルタオプト(株)  
ユニシ(株) 新日本製鐵 セーレン(株) 大日本インキ化学工業(株)  
中部電力(株) テルモ(株) トーヨーポリマー(株) 東洋紡績(株)  
トヨタ車体(株) トヨタ紡織(株) 中川産業(株) ニプロ(株)  
日本ガイシ(株) 日油(株) プラザー工業(株) マルホ(株) 三井化学(株)  
三菱レイヨン(株) リンナイ(株) 花王(株) 荒川化学工業(株)  
三菱ガス化学(株) 三和油化工業(株) 自営業(寺) 成和化成(株)  
積水化学工業(株) 太陽化学(株) 帝人(株)  
東レ(株)(株)東レリサーチセンターへ出向) 東海ゴム工業(株)  
東亜合成(株) 日星電気(株) 日本ガイシ(株) 日本ペイント(株)  
日本特殊陶業(株) 宝酒造(株)

《進学先》  
名工大 博士後期課程

### ●第一部●

《就職先》  
(株)INAX (株)システムリサーチ (株)東海理化電機製作所

(株)第三銀行 愛知電機(株) アスモ(株) アルプス薬品工業(株)  
イビデン(株) 東京三菱インフォメーションテクノロジー(株)  
日邦産業(株) 日本ガイシ(株) 野村マイクロ・サイエンス(株)  
リクルートエンジニアビュー職 大日本インキ化学工業(株)

《進学先》  
東京工業大学 東京大学 理学系研究科 化学専攻  
名古屋市大 システム自然科学 生体情報専攻  
名工大 博士前期課程 物質工学専攻  
名工大 博士前期課程 未来材料創成工学専攻  
名工大 博士前期課程 産業戦略工学専攻

### ●第二部●

《就職先》  
(株)CSKシステムズ (株)TIBC (株)カサイテクノ  
(株)三和スクリーン銘板 (株)トライグループ (株)パロマ  
(株)メディリンク (株)光金属工業所 (株)青山製作所  
愛知県立豊川工業高校 サンワ技研(株) スギムラ化学工業(株)  
大同特殊鋼 高木産業 高砂工業(株) 中央化工機(株)  
豊和繊維工業(株) 丸三製陶(株) 森永乳業(株) ユタカフーズ(株)  
大空防災 大同メタル工業(株) 日立化成商事(株) 浜名湖電装(株)  
北川工業(株) 名鉄情報システム

名古屋市長 名古屋地方検察庁  
《進学先》  
奈良先端科学技術大学院 北海道大学 環境科学専攻  
名工大 博士前期課程 物質工学専攻  
名工大 博士前期課程 未来材料創成工学専攻